事業報告概要

本学は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を達成するために「学生を基本に据えた大学づくり」を大学運営の基本理念に掲げ、社会の屋台骨を支える有為な人材の育成に努めるとともに、骨太の大学改革に取り組んでいます。

令和3年度から令和7年度までの5年間については、「学校法人専修大学中期計画」において注力する「計画の柱」を「専修大学」「石巻専修大学」「学校法人専修大学」のそれぞれに設定し、その下に具体的に取組む「行動計画」を設けています。また、事業計画においては、中期計画による各事業を「重点施策」と位置付けるなど、それぞれの計画の連関性をより明確にして事業を進めています。

令和3年度は、専修大学と石巻専修大学が創立140周年記念事業、創立30周年記念事業として取り組んできた各学部の教育改革、学部学科の再編、さらに神田キャンパスの拡張整備などの成果を社会に示すための第一歩を踏み出す年になりました。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、今年も大学の諸活動に影響を及ぼしました。しかし、本学教職員の尽力と学生の理解・協力を得て、様々な対策や工夫を講じることで本学キャンパス内の安全を確保しながら、教育・研究活動の機能を維持し「社会知性の開発」に向けた活動が継続されております。3月には専修大学及び石巻専修大学において、昨年度に続き、感染症対策を徹底した上で2部制による卒業式・学位記与式を挙行できました。

令和3年度の事業について、専修大学では、学生の目覚ましい活躍がありました。陸上競技部が2年連続70回目の箱根駅伝への出場を決めました。さらに北京五輪では3年次生の森重航君がスピードスケート500mで銅メダルを獲得しました。在学生のメダル獲得は28年ぶりです。難関国家試験である国家公務員採用総合職試験、公認会計士試験、司法試験など多数の合格者が出るなど支援の成果が顕著に表れています。

教学面の改革では、「Society5・0」時代の到来を見据えて数理・データサイエンス・AIを理解・活用する能力を育成する「Sーデータサイエンス教育プログラム」の構築にも取り組みました。同プログラムは令和4年度の入学生から全学部で始動します。

石巻専修大学では「石巻専修大学中長期ビジョン」に対する具体的な行動計画が随時実行されてきました。経営学部では、経営学部情報マネジメント学科が開設され、4月から新学科がスタートしました。理工学部では、理工学部改組に向けた各種手続きを完了し、令和4年度から当該学部は、生物科学科、機械工学科、情報電子工学科の3学科体制で再始動しました。スポーツでは、女子競走部が第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に4年連続で6回目の出場を果たしました。硬式野球部が南東北大学野球連盟 春季1部リーグ戦で優勝し、第70回全国大学選手権記念大会に出場しました。

今日の社会は、グローバル化、少子高齢化、ロボットやAIの進化、産業・就業構造の変容、さらには、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、人々の暮らしや働き方に大きな変化が生じ、これまでの常識が通用しない、将来予測が困難な時代を迎えています。このような時代において、本学が目指す21世紀ビジョン「社会知性」を身につけた人材が必要不可欠です。

専修大学及び石巻専修大学は、社会からの期待に応え、新たな時代を担う人材を育成するために、創立以来の歴史と伝統を受け継ぎ、さらなる発展を目指してまいります。（令和3年度事業報告書の詳細は公式WEBページをご覧ください。）

学校法人専修大学　令和３年度決算概要

学校法人専修大学の令和３年度事業報告・決算は、5月25日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

1 資金収支計算書

収入の部では、当年度収入合計が予算比0・90%減の247億4984万円（前年度比では0・84%の減）となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0・69%減の326億769万円となっている（前年度比では3・21%の増）。

支出の部では、当年度支出合計が予算比1・32%減の252億478万円（前年度比では6・19%の増）で、翌年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み74億291万円となっている（前年度比では5・79%の減。

(1) 収入の部

①学生生徒等納付金収入は、予算比0・01%増の197億804万円（前年度比では0・30%の増）。最終在籍者数が専修大学で1万7009人、石巻専修大学で1355人となり、全体では1万3364人。最終在籍者数は、前年度と比べ、全体で274人の減となっている。

②手数料収入は、予算比9・10%減の10億682万円（前年度比では0・88%の増）。このうち、入学検定料収入は、予算比8・93%減の10億391万円となっている。

③寄付金収入は、予算比32・22%減の1億3556万円（前年度比では23・99%の減。

④補助金収入は、予算比2・43%減の21億36万円（前年度比では4・19%の増）。このうち、国庫補助金収入は、予算比2・48%減の21億4267万円（前年度比では4・23%の増）で、経常費補助金のほか、授業料等減免費交付金及び情報機器整備費補助金を含んでいる。

⑤資産売却収入は、計上額なし。

⑥付随事業・収益事業収入は、予算比6・68%減の5億4971万円（前年度比では17・74%増）。差異は、留学及び各種国際交流プログラム中止、国際交流会館の利用者、各セミナーハウス利用者、石巻通学サポートバス利用者の減等による。

⑦受取利息・配当金収入は、予算比36・96%増の2211万円（前年度比では55・12%の減。このうち、その他の受取利息・配当金収入は、予算比37・0%増の2211万円（前年度比では54・98%の減。差異は、銀行預金利息の増。

⑧雑収入は、予算比9・40%増の8億3775万円（前年度比では13・62%の減）。差異は、大学施設等の貸出、退職金財団交付金、科学研究費補助金間接経費、関東学生陸上競技連盟東京箱根間往復大学駅伝競走補助金、分畑環境整備協賛金、損害保険金の受入等の増。

⑨借入金等収入は、予算どおりで実績はない。

⑩前受金収入は、令和4年度入学者の入学手続時における納入学金（翌年度の学生生徒等納付金決算額。要因等は以下の通り。

・旅費交通費支出：74万円（7261万円の減）。学生通学バス利用者、ゼミナール合宿、学会補助費、教員個人研究、在外研究、研究助成、受託研究費等の減。

・奨学費支出：15億2072万円（2090万円の減）。新型コロナ緊急支援学費減奨学生、育友会奨学生、家計急変奨学生等の減。

・修繕費支出：1億4286万円（5529万円の増）。神田校舎消防設備修理、神田1号館湧水ポンプ修理、神田1号館機械室天井修理、神田1・2号館給水管更新、神田2号館教室電動スクリーン修理、神田6号館国際会議室照明修理、神田7号館埋圧給水ポンプ修理、神田8号館埋圧給水ポンプ修理、神田8号館空調設備修理、生田9号館図書館照明及び電動書架修理、図書館生田分館壁漏水補修、生田第一体育館洗濯乾燥室復旧、富士山中湖セミナーハウス給水ポンプ交換、石巻3号館及び森口記念館自動ドア修理、緊急地震速報端末切替工事等の増。

・委託費支出：15億3222万円（2222万円の減）。会計士講座、公務員試験講座、学生通学バス運行、図書館閲覧業務、教育事務所管入材派遣等の減。

・謝礼費支出：7600万円（1619万円の減）。専修大学入門ゼミナール講師料、専門科目講師料、融合領域科目講師料、国際交流プログラム講師料、各種課外講座講師料、受託研究、教育実習研究、石巻教員個人研究費使用額等の減。

③管理経費支出は、予算比1・17%減の12億4565万円（前年度比では2・59%の減）。

予算比減の主なもの

漏水補修、生田第一体育館洗濯乾燥室復旧、富士山中湖セミナーハウス給水ポンプ交換、石巻3号館及び森口記念館自動ドア修理、緊急地震速報端末切替工事等の増。

ニュース専修発送、管理事務所管入材派遣、体育寮給食業務委託費等の減。

・公祝公認費支出：5422万円（1113万円の増）。消費税等確定申告費等の増。

④借入金等利息支出は、予算どおりで168万円。

⑤借入金等返済支出は、予算よりの返済で4億777万円。

⑥施設関係支出は、予算より10・48%増の1億4483万円（前年度比では65・93%の減。

このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比25・76%増の1億1165万円で、差異は、神田8号館教材準備室丁台（支出の振替控除科目）。また、資金収支調整勘定は、期末未払金及び前期末前払金で△1億4994万円。

⑦付属事業支出は、予算比7・48%増の7848万円となっている。

①人件費支出は、予算比0・62%増の144億1824万円（前年度比では1・46%の減。職員人件費及び退職金等の増。

②教育研究経費支出は、予算比1・26%減の76億7653万円（前年度比では0・78%の増。

予算比増減の主なもの

・図書費教員費支出：1億7207万円（1120万円の減）

雑誌出版減及び納品遅延等による。

・光熱水費支出：5億7346万円（2423万円の増）

電気及びガス使用量の増、重油・灯油等燃料費値上げによる増。

・旅費交通費支出：74万円（7261万円の減）。学生通学バス利用者、ゼミナール合宿、学会補助費、教員個人研究、在外研究、研究助成、受託研究費等の減。

・委託費支出：4億5767万円（1817万円の減）。

ニュース専修発送、管理事務所管入材派遣、体育寮給食業務委託費等の減。

・公祝公認費支出：5422万円（1113万円の増）。消費税等確定申告費等の増。

④借入金等利息支出は、予算どおりで168万円。

⑤借入金等返済支出は、予算よりの返済で4億777万円。

⑥施設関係支出は、予算比